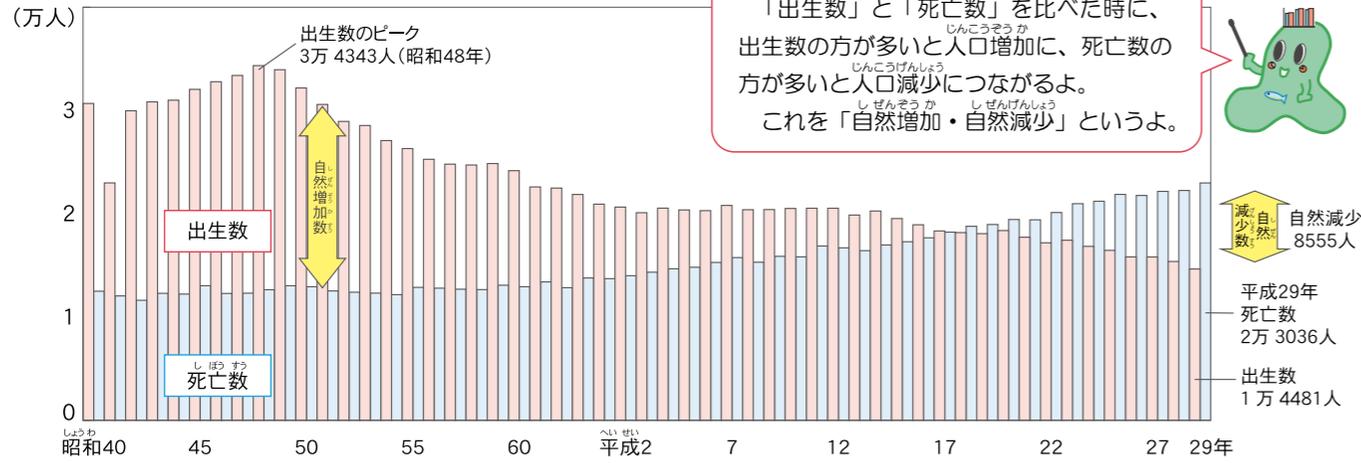




平成29年は死亡数が出生数を約8600人上回り自然減少が拡大 社会動態では、若い世代を中心に転出超過が続いている

合計特殊出生率が回復傾向にあっても出生数が増加しないのは、母となる女性の減少のため。転入と転出の差を比べた社会動態をみると、若い世代で職業や学業による転出超過が続く。

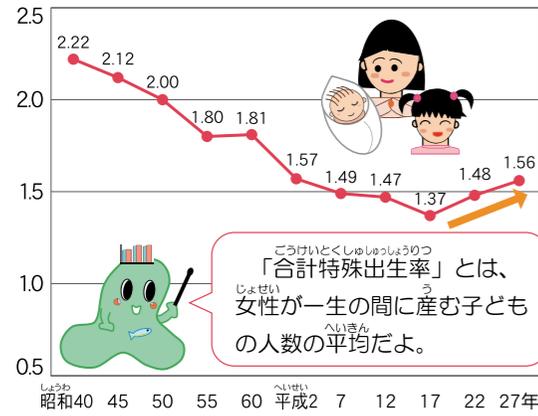
1 出生数と死亡数のうっすり変わり (岐阜県)



「出生数」と「死亡数」を比べた時に、出生数の方が多いと人口増加に、死亡数の方が多いと人口減少につながるよ。これを「自然増加・自然減少」というよ。

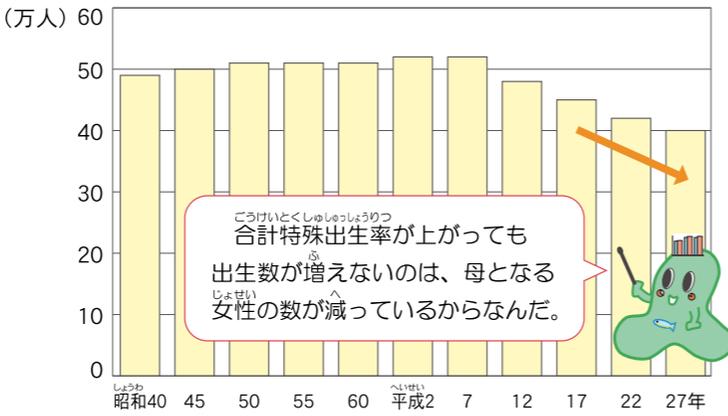


2 合計特殊出生率 (岐阜県)



「合計特殊出生率」とは、女性が一生の間に産む子どもの人数の平均だよ。

3 15~49歳の女性の数 (岐阜県)

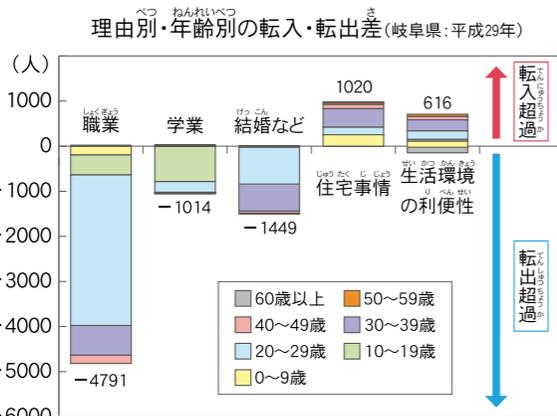


合計特殊出生率が上がっても出生数が増えないのは、母となる女性の数が減っているからなんだ。



4 転出超過によって約3500人の人口減少 (平成29年)

平成29年の転出超過は、3532人となった。理由別にみると、20歳代を中心とした若い世代で、「職業」「学業」「結婚など」を理由とした転出超過が目立つ。一方、「住居事情」や「生活環境の利便性」では、転入超過となった。



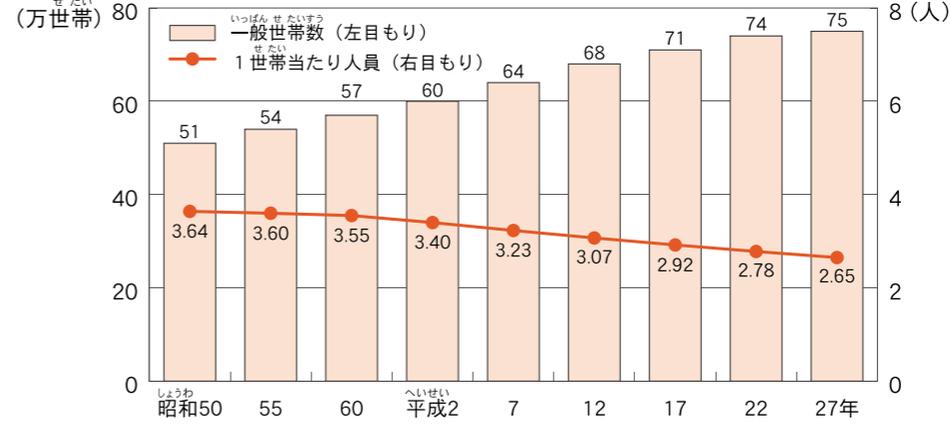
「転入数」と「転出数」を比べた時に、転入数の方が多いことを「転入超過」、転出数の方が多いことを「転出超過」というよ。転出超過によって人口が減ることを「社会減少」というんだ。



1 世帯当たり人員は2.65人で多い方から全国6位 小家族化は進むが、3世代同居が多く1人暮らしが少ない

人口減少の一方で世帯数が増加し、1世帯当たり人員は減少しているが、全国の2.33人と比較すると多い方。共働き率や持ち家住宅率が高いことが特徴。

1 岐阜県の世帯数と1世帯当たり人員 (平成27年)



1世帯当たり人員とは、1世帯(1家族)の人数の平均で、家族の大きさを表しているよ。



2 1世帯当たり人員

全国平均 2.33人

1位	2.78人	山形
2位	2.75人	福井
3位	2.67人	佐賀
4位	2.66人	富山
5位	2.65人	新潟
6位	2.65人	岐阜
7位	2.59人	滋賀

3 1人暮らし世帯率

全国平均 34.6%

47位	25.5%	山形
46位	25.8%	奈良
45位	25.9%	岐阜
44位	26.3%	富山
43位	26.6%	福井
42位	26.9%	佐賀
41位	27.6%	新潟

4 共働き率

全国平均 24.5%

1位	36.1%	福井
2位	35.8%	山形
3位	34.4%	富山
4位	32.8%	新潟
5位	32.8%	長野
6位	32.6%	岐阜
7位	32.5%	島根

5 持ち家住宅率

全国平均 62.3%

1位	78.1%	富山
2位	78.0%	秋田
3位	75.7%	福井
4位	75.0%	山形
5位	74.6%	新潟
6位	74.2%	和歌山
7位	74.1%	岐阜

6 1人当たり居住室の畳数

全国平均 13.5畳

1位	17.2畳	秋田
2位	17.1畳	富山
3位	16.2畳	石川
4位	16.0畳	青森
5位	15.8畳	長野
6位	15.7畳	新潟
7位	15.5畳	岐阜

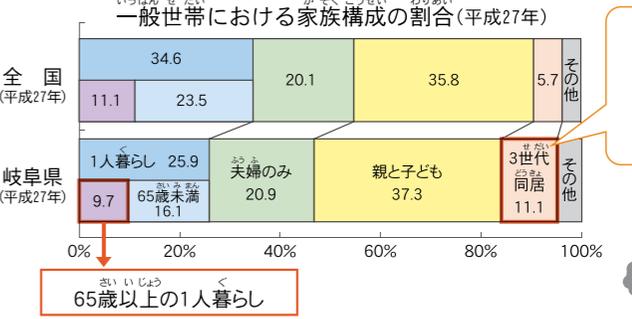
7 1世帯当たり自動車保有台数

全国平均 1.06台

1位	1.75台	福井
2位	1.70台	富山
3位	1.68台	山形
4位	1.64台	群馬
5位	1.62台	栃木
6位	1.60台	茨城
7位	1.59台	岐阜

8 65歳以上の1人暮らしは、約10世帯に1世帯

全国と比較すると、岐阜県は1人暮らしが少なく、3世代同居が多い。しかし、小家族化は年々進んでおり、15年前(平成12年)には、20世帯に1世帯であった65歳以上の1人暮らしが、平成27年には、10世帯に1世帯となった。



岐阜県の3世代同居率は、全国で11番目に高いよ。



(出典-人口の動き) グラフ1、4:「岐阜県人口動態統計調査」(各年の前年の10月1日から翌年の9月30日までの1年間の数) グラフ2:厚生労働省「人口動態統計」 グラフ3:総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)
(出典-世帯と暮らし) グラフ1、8:総務省「国勢調査」(各年10月1日現在) グラフ2~5:総務省「国勢調査」(平成27年10月1日現在) グラフ6:総務省「住宅・土地統計調査」(平成25年10月1日現在)
グラフ7:一般財団法人 自動車検査登録情報協会「自家用乗用車の世帯普及台数」(平成29年3月末現在)